

コンパクトエアステーションCAS-1取扱説明書

この度は、コンパクトエアステーションCAS-1をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。正しくご使用していただくために、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読み下さい。また、お読みいただきました後も大切に保管しておいて下さい。

I. 安全対策

I-1. 注意事項

- I-1 a. コードやプラグに損傷の有る場合は決して製品を作動しないで下さい。製品が正常に働かない場合や落下、損傷、水に浸した場合は調査の為、販売先へご返送願います。
- I-1 b. コードは熱源より十分離してご使用下さい。
- I-1 c. ハウジングの通気穴を閉じないでください。また、糸くずやゴミなどで通気口を塞がないで下さい。
- I-1 d. 通気口から物を入れないで下さい。
- I-1 e. オーバーロードの場合はヒューズが飛んでモーターを停止します。もし、このようなことが起こったら、コードを抜き、販売元へご連絡願います。
- I-1 f. ホース、継手等の許容値を確認してから接続して下さい。
- I-1 g. 吸引側、加圧側を確認後、製品を使用してください。

I-2. 警告

- I-2 a. 製品に液体が触れないよう使用して下さい。
- I-2 b. 液体で濡れた場合は製品に触らないで下さい。すぐにプラグを抜いて下さい。
- I-2 c. 室内のみでご使用下さい。

I-3. 危険

- I-3 a. 起爆性のある場所や噴霧器の使用されている場所では製品を使用しないで下さい。
- I-3 b. 有機質、塩基性及び酸性の媒体は使用しないで下さい。
- I-3 c. 可燃性のある液体や蒸気等のある場所では使用しないで下さい。
- I-3 d. 炎のそばで製品を使用しないで下さい。

Ⅱ. 取付

Ⅱ－１．前置き

この説明書は製品の整備や維持のためだけではなく、間違った使い方を防ぐためにも書かれています。

Ⅱ－２．取出し

慎重にダンボール箱から製品を取り出して下さい。運搬による損傷が見受けられる時は、速やかに運送業者へご連絡願います。

Ⅱ－３．製品取付

製品後部の防振ゴムを下にして製品を使用してください。

Ⅱ－４．使用環境

清潔で通気性のある環境で使用してください。製品の通気口が塞がれていないことを確認してください。周囲温度は10～40℃に維持してください。湿気の多いところでは使用しないで下さい。

Ⅱ－５．ポート

製品の側面に吸引側（Vacuum）ポートと加圧側（Pressure）ポートがあります。

Ⅱ－６．電源（AC100V50／60Hz仕様）

供給電圧及び周波数が仕様範囲であることを確認してください。仕様外の電圧を供給した場合、製品に多大のダメージを与えることがあります。

Ⅱ－７．接続

5.0mm程度の内径のホースを吸引側及び加圧側ポートへ接続してください。この時、ホースクランプをご使用下さい。ホースの長さは出来る限り短くしてご使用下さい。

Ⅲ. 操作

Ⅲ－１. 始動過程

Ⅲ－１ a. ポンプ作動

製品をシステムに取り付ける前にポンプの機能、動作に精通されることを推奨します。Ⅱ－６で示したとおり、供給電源を再確認してください。ポンプを使用前に数分間暖気運転を行うことをお勧めします。このウォーミングアップにより、湿度のある空気を送るためのポンプ性能が向上します。

Ⅲ－１ b. 清潔な環境

ポンプの吸引側から細かい塵などが進入するのを事前に防ぐ必要があります。このような小さなゴミがポンプの性能を低下させます。吸引時に粉塵を吸い込むようなときは、粉塵トラップを吸引側に設けてください。ガラス綿をガラスケース及びプラスチックチューブ内等に取り付けますと、簡単で安価な粉塵トラップとしてご使用頂けます。

Ⅲ－２. 漏れチェック

真空装置にてエア漏れをなくすことは重要なことです。漏れは石鹼水を予想される個所に塗ることで判明できます。エアが漏れていると、塗付部から空気泡が発生します。

Ⅲ－３. 加圧／真空度

真空ポンプとしては、大気圧から最大真空度 29.2 kPa まで引くことが出来ます。加圧用としては、大気圧から最大加圧値は間欠運転時 172 kPa まで加圧できます。

Ⅲ－４. 停止時

ご使用後は配管を取り外し、ポンプ単体で2分程度運転してください。これにより、ポンプ内部に付着した水分などがはじき出され、ポンプ内部をきれいにします。これにより、ポンプの性能が長持ちします。

Ⅳ. メンテナンス

この製品はオイルフリーで、PTFE製ピストンスリーブ／シリンダーを使用しています。ベアリングについてはメンテナンスの必要はありません。この製品は連続運転及び間欠運転用に静かで長持ちするように設計されています。ポンプの寿命は2,000～3,000時間程度になります。筐体についてはメンテナンスは出来ません。

V. トラブルシューティング

V-1. 真空時のトラブル

漏れ、汚れおよび有害なガス吸引が真空度低下の原因になります。最大の効率を求めるためにはポンプを常にクリーンにしておく必要があります。もし、システムが完全に清潔で漏れがない状態で真空度が上がらない場合は、ポンプをチェックする必要があります。ポンプの性能を測る簡単な判断基準としては、ポンプ単体で最大真空度が出ているかどうか確かめることで分かります。吸引側を遮断し、真空度を確認してください。

V-2. 加圧時のトラブル

漏れおよび汚れが加圧度低下の主な要因になります。最大の効率で運転するためには、システムを完全にクリーンな状態に保つ必要があります。もし、システムが完全に清潔で漏れがない状態で加圧度が上がらない場合は、弊社取扱窓口までお知らせ下さい。

製 品 仕 様

ポンプ型式	CAS-1
電気仕様	100V 50/60Hz
消費電流値	1.7 / 1.4 A
無負荷時流量	9.2 / 11 LPM
最大圧力	172 kPa 以上
最大真空度	29.2 kPa 以上
接続口径（推奨ホース内径）	φ 8mm (φ 5mm)

■商品についてのお問い合わせは

アズワン株式会社

カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875

FAX 0120-700-763

 <http://help.as-1.co.jp/q>

受付時間: 午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。